



ご挨拶



ジー エイチ クラフト1968年、創業以来、一貫して速い！軽い！乗りモノ 造りを心がけて早くも37年が経ちました。私どもが扱う技術と材料は、現在世界の最先端・最強・最軽量の炭素繊維系複合材料(先端複合材料)です。従来この材料は釣り竿・テニスラケット・ゴルフシャフト、戦闘機・F-1等々があり、最近は最新大型旅客機(A380、B787など)の30~50%をこの材料で作り、5年先には乗用車でも大量に用いることが始まるでしょう。

これは19世紀初頭に鉄鋼(Steel)材料の普及によって興った産業革命に匹敵する、新素材による新産業革命が起きつつあるのだ、と言って良いと私は考えています。

地球規模の環境問題！を改善する最も効果的な手段としてカーボンファイバー・コンポジットを乗用車のボディに採用する具体的な開発が始まりつつあります。これにより車体重量を50%軽量化し、先端ハイブリッドなどの機関で50~100km/Lまで燃費を改善しようとしています。

しかしコンポジット加工技術の現状は未だ工芸品的工業レベルで、設備投資が産業レベルにはほど遠い状態です。

炭素繊維材料の供給は日本の3社が世界の70%を担っています。しかし年間総生産量がまだ3万トと産業資材と言うには小さな市場でしか有りません。しかし、これからの10年で、この素材を用いた産業が急速に拡大する事が既存技術の延長線上でできる最も確実に具体的な環境対策に成るのです。

私どもがこの業界で地道に創業以来築いてきた技術は欧米で風力発電の主要部材として大成長し、今後いよいよ航空機・自動車産業で開花します。そのような中、私どもは中小企業ならではの商品として中型風力発電装置と垂直離発着無人航空機の事業を新たに選択しました。

この2つのアイテムに技術を結集し、中小企業から中堅企業への飛躍を図る所存です。

これまで私どもは、大変良いお客様に恵まれ、世界・日本の最先端で試作開発プロジェクトを行う事ができました。

この試作開発を今後も継続し、お客様に喜んで頂き、次の世代へと技術・事業を伝承し、発展させます。

夢は、次世代乗り物系試作開発を開発するセンターを目指し、大型製品開発工房の建設も開始致します。

応援よろしくお願い致します。

2005年4月 (株)ジー エイチ クラフト

代表取締役 木村 學

